

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション・ビジョン

IT基盤の提供により社会の仕組みを支え、人々の生活に価値をもたらし、新たな信頼性を創造する

売上高
19,000百万円

営業利益
2,850百万円

営業利益率
15.0%

ROE
17.0%以上

② 中長期の経営戦略

1. 事業の変革

決済・セキュリティ・データ通信・分析基盤の領域で保有ソリューションの価値最大化と成長施策を推進

3. 人財の変革

スキル・経験の可視化、継続的学習支援、リスクリングを通じて信頼されるプロフェッショナル集団を形成

2. 技術の変革

高速・大量のデータ通信及び分析・処理技術を中心に先端技術やDXとの融合を図り競争力強化

4. DNPグループ連携

グループとの連携強化で顧客基盤を活用し事業競争力強化と多角化に向けた収益基盤を構築

③ 対処すべき課題

① 事業の多角化と成長基盤

- ・ 決済・セキュリティ・データ通信・分析基盤領域での事業拡大
- ・ 収益構造の見直しと持続的な事業成長の実現

② 技術競争力の強化

- ・ 既存製品・サービスの付加価値向上
- ・ 技術的強みを活かした新規事業の創出

③ 人財育成と組織強化

- ・ 変化を恐れず未来を切り拓く人財育成
- ・ 管理職層の育成と組織の健全性向上

面接で使えるポイント

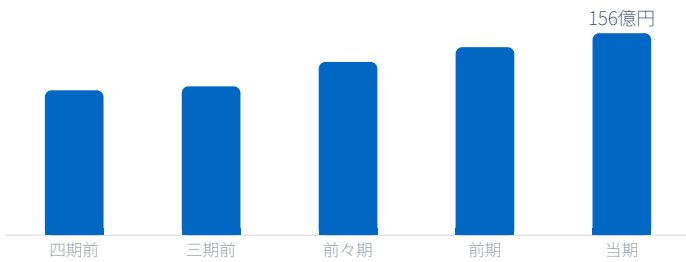
- ・ 2027年6月期に売上高190億円、営業利益28.5億円を目標とした3年間の変革を通じた中期経営計画の推進
- ・ 決済・セキュリティ・データ通信・分析基盤の3領域への注力とDNPグループとの連携による事業競争力強化
- ・ IT基盤を通じた社会貢献と、スキル可視化・リスクリングによるプロフェッショナル人財の育成

株式会社インテリジェント ウェイブ

情報・通信業 | プライム（内国株式） | 決算期 6月30日

証券コード 4847

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



要するに
システム開発およびシステム製品の販売を主力事業とする情報サービス企業

主力事業・セグメント
・情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）
・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高 －（未開示）	営業利益率 －（未開示）	財務健康度 61点 / 100点
-----------------	-----------------	---------------------

将来性 曇り / 就活偏差値 53.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収 725万円 情報・通信業内 177位/592社	平均年齢 39.2歳 情報・通信業内 230位/593社	平均勤続 10.5年 情報・通信業内 123位/593社	女性管理職 17.0% 情報・通信業内 140位/373社	男性育休 129.0% 情報・通信業内 11位/297社
------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

参考: (株)インテリジェント ウェイブ【4847】：決算情報

株式会社インテリジェント ウェイブ 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyo-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

